



今どきの、じいじ ばあばから 若いみなさんへ おねがい



とても心配です

「特定秘密保護法」がつくられ、内閣が「集団的自衛権を認める」ようになって、私たちはとても心配しています。これから、自由に「モノを言うこと」ができない世の中になるのではないかと、みなさんのような若い人たちが、戦場に送られて、殺されたり、人を殺すことになるのではないかと。

私たちは、そんな世の中にならないように、これからも声をあげ続けていきます。

若いみなさん！

このチラシを友だちにみせる。

このチラシの感想をツイッターでつぶやく。

自分ができることから良い。

声をあげていってください。お願いします。

おすすめBOOK

内山 奈月 (AKB48) 共著
南野 森 (九州大学准教授)

憲法主義

PHP研究所 ¥1,296

AKB48の内山奈月さんは、日本国憲法の全条文を暗唱している「憲法キャラ」

・・・憲法についてお勉強すると聞くと、とても堅苦しいことのように聞えてしまうかもしれません。

この本を通じてそうでないのだと知っていただけたら・・・

チラシ制作

竜爪山九条の会 (りゅうそうざんきゅうじょうのかい)

事務局 静岡市葵区古庄3-19-34

TEL・FAX 054-264-4918

URL <http://www3.plala.or.jp/ryusozan9/>

「九条の会」は、日本国憲法・第九条を守りたいという人が、いろいろな考えの違いをこえて集まっている会です。全国には、およそ7500の「九条の会」があります。

竜爪山九条の会は、地元の「九条の会」です。

日本国憲法は

「二度と戦争したくない」
「自由にモノを言うことができ
ない時代にしたくない」という、
私たち先輩の強い気持ちによっ
てつくられた憲法です。前文で
「二度と戦争しないことを決意
し」、第九条で「戦争しない」
「戦力をもたない」ことを定め
ています。

『あたらしい憲法のはなし』 から

これからさき日本には、陸軍も海軍
も空軍もないのです。これを戦力の放
棄といいます。「放棄」とは「すてて
しまう」ということです。しかしみな
さんは、けっして心ぼそく思うことは
ありません。日本は正しいことを、ほ
かの国よりさきに行ったのです。世の
中に、正しいことぐらい強いものはあ
りません。

(1947年、文部省発行、中学用教科書)

日本国憲法・九条を守り続けたから

日本は、一度も戦争にまきこまれることなく、
軍事力によって一人の外国人も殺しませんでした。
日本人はおおいに「国際貢献」してきました。

「集団的自衛権」を認め、日本が 「アメリカと一緒に戦争する国」になっていたら

「(集団的自衛権とは)売られてもいない他人のケンカに、こっちから飛び
込んでいこう」ということ。「縁もゆかりもない国に行って、恨みもない人
たちを殺してこい。安倍さんはこのように自衛官に言うわけです。君たち自
衛官も殺されてこいと言うのです。」「他人のケンカ買いに行ったら、逆恨
みされますよね。当然ですよ。だから、アメリカと一緒に戦争した国は、か
たっぱしからテロにあってるじゃないですか。イギリスも、スペインも、ド
イツも、フランスも、みんなテロ事件が起きて、市民が何人も殺害されてる
じゃないですか。みなさん、軍隊はテロを防げないんです。世界最強の米軍
がテロを防げないんですよ。自衛隊が海外の戦争に参加して、日本がテロに
狙われたらどうしますか。」 泥 憲和さん(元自衛官、防空ミサイル部隊)